

お二人のご挨拶に続いて議事に入りました。

母校も通常活動に戻ると伺えて!

●浦高同窓会 令和3年度総会が無事に終わる!

昨6月27日(日)13時30分から、さいたま新都心のブリランテ武蔵野にて「一般社団法人埼玉県立浦高等学校同窓会 令和3年度社員総会」が開催され、会場出席、オンライン出席、議決権行使委任等が正副会長以下の理事31名/32名中、代議員29名/40名中、合計60名/72名で総会が成立しました。

冒頭に野辺博・同窓会会長からのご挨拶。「コロナ禍でまだまだ感染等の心配が続く中、多くの皆様にご出席いただき総会が開催されますことを心からお礼申し上げます。この1年、コロナ禍の影響を受けて仕事の面でも新たな試みが始まっています。私は弁護士という仕事柄、裁判に関わる部分での変化を感じております。主張書面もウェブが導入され、メールが採用されたこと、さらに遠隔地裁判においてオンラインでの申し立てができるなど新たな形での裁判が行われるようになってきております。同窓会活動においても、ウェブ会議形式を導入し、こうして会場とオンラインでの出席者により会議が行えるなど新たな試みも進んでいます。本日は一般社団法人になって初めての1年間の決算と代議員2名の選任についてご審議いただくものです。決算書類も大きく変わりましたが、よろしくご審議いただきますようお願いいたします」



続いて、水石明彦・浦高校長からのご挨拶。「昨年度はコロナ禍で学校行事に対してさまざまな制約がかかった1年でありました。11月の強歩大会以外が中止となり、部活動でも全国大会や県大会が中止となり、3年生の皆さんは結果を残せないまま卒業という辛いものがありました。一方、学業においては、生徒達の努力と教員達の支援もあり、東大合格者46名、内現役25名をはじめ学受験で高い評価をいただきました。私は例年通り学校行事や部活ができればもっと良い成績が残せたと思っております。そこで学校行事も、5月の新入生歓迎マラソンなどを実施し、今週末からは3年生の修学旅行、7月中旬には2年生、続いて1年生が臨海学校へ出かけます。秋にはスポーツ大会、文化祭なども例年通り実施し、浦高生たちに通常の生活を取り戻したいと考えております。昨年、同窓会からは赤外線サーモカメラや消毒用エタノールの提供などをいただきましたが、今年も臨海学校では水泳部48名によるご指導などのご支援もいただく予定です。今後とも、ご支援とご協力をお願いいたします」

続いて、水石明彦・浦高校長からのご挨拶。「昨年度はコロナ禍で学校行事に対してさまざまな制約がかかった1年でありました。11月の強歩大会以外が中止となり、部活動でも全国大会や県大会が中止となり、3年生の皆さんは結果を残せないまま卒業という辛いものがありました。一方、学業においては、生徒達の努力と教員達の支援もあり、東大合格者46名、内現役25名をはじめ学受験で高い評価をいただきました。私は例年通り学校行事や部活ができればもっと良い成績が残せたと思っております。そこで学校行事も、5月の新入生歓迎マラソンなどを実施し、今週末からは3年生の修学旅行、7月中旬には2年生、続いて1年生が臨海学校へ出かけます。秋にはスポーツ大会、文化祭なども例年通り実施し、浦高生たちに通常の生活を取り戻したいと考えております。昨年、同窓会からは赤外線サーモカメラや消毒用エタノールの提供などをいただきましたが、今年も臨海学校では水泳部48名によるご指導などのご支援もいただく予定です。今後とも、ご支援とご協力をお願いいたします」

■令和3年度総会議事

◆第1号議案 令和2年度(R2.7.1~R3.3.31)の事業報告及び決算の件

※ 令和2年7月1日の法人設立日以降の事業報告では、コロナ禍の影響で各種事業が中止となり、地域職域同窓会の総会等も少なく、ビジネス人材ネットワークもWebでの幹事会などであった。
 ※ 決算では、5年に1度の名簿作成に伴う収益等があったことと、総会等の事業がなくが支出が少なかったことから期首と比較して220万円の増で、期末での正味財産は6,440万円となりました。

◆第2号議案 代議員2名選任の件

※ 西部浦高会と春日部地区浦高会から各1名の代議員が推薦され、選任しました。

議事については質問・意見もなく全会一致で可決されました。決算書については、貸借対照表、同内訳、正味財産増減計算書、同内訳、財産目録など各種書類が添付されたことで税務署等へ提出する書式に従った書類が添付され、事務局や監事のご苦勞を感じました。ありがとうございました。

議事を終えて、報告事項が3点ありました。

■報告事項

1. 令和3年度事業計画及び予算について

※ 百年の森の現地活動(現地集合)なども含めてできるだけ通年行事を実施していきたい。

2. 奨学財団の状況について

※ 8年間で現金9,750万円、株券34万株の寄附があり、延べ264人に給付することができた。今後、同窓会に決算等も公表していきたい。

3. 浦高グラウンド人工芝化プロジェクトの状況について

※ 目標額6,600万円を掲げて取り組んでいるが、現在2,700万円余、今後、目標額達成に向けて努力したい。

会場からは、奨学財団の状況について資産状況を開示して欲しいという意見や、グラウンドの人工芝化を130周年記念行事として検討してはどうかといった意見も出されました。野辺会長からは「130周年記念事業については、今後、理事会等で議論していきたい」という回答もありました。

通常であれば200名近くが集まる会員総会、講演会、懇親会と続くのですが、昨年今年と2年続けて中止となり限られた人数での少々寂しい社員総会となりました。それでも、大きな金額を動かし、さまざまな事業に取り組んでいる浦高同窓会、今年度も野辺会長の下で多くの事業、さらに将来を見据えての同窓会活動の検討を進めてまいりたいと思います。9月には春日部地区浦高会の総会も何とか開催したいと考えています。

〔写真は、藤野龍宏同窓会事務局次長の撮影による〕